

基本情報

施設名	株式会社 健成プライム けんせい保育園
所在地	相模原市中央相模原 2-10-14-1F
電話番号	042-752-8852
評価年度	平成 27 年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

評価方法

自己評価	
(実施期間) 平成 28 年 1 月 4 日～ 平成 28 年 1 月 23 日	評価項目の察しを各職員に渡し、1/4～1/22 迄に考えてくるように指示。1/23 に職員ミーティングを開き、全体のものとしてまとめる。
評価調査員による評価	
(実施期間) 平成 28 年 2 月 25 日	評価調査者 2 名が、1 日間を通し、園内の視察、保育内容、子どもの観察、園長とのヒアリング及び書類確認により総合的に評価を行いました。職員インタビューを実施し、お昼、午睡時の観察を行い、保育士とのかかわりを観察しました。けんせい保育園は小規模保育事業ですが、評価項目は神奈川県社会福祉協議会版を使用しました。
利用者家族アンケート	
(実施期間) 平成 28 年 1 月 4 日～ 平成 28 年 1 月 23 日	アンケート協力のお手紙と共に、1/4～8 の週に各家庭へ配布。回収箱を設置し、1/22 迄に全員分を回収した。

株式会社 R-CORPORATION

第三者評価結果報告書

《総括》	
対象事業所名	けんせい保育園（定員 16 名）
経営主体(法人等)	株式会社 健成プライム
対象サービス	保育所（小規模保育事業）
事業所住所等	〒252-0216 相模原市中央区相模原 2-10-14-1F
設立年月日	平成 25 年 2 月 15 日
評価実施期間	平成 28 年 1 月 ～ 28 年 3 月
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION
評価項目	神奈川県社会福祉協議会版

総合評価

●けんせい保育園の立地・概要

けんせい保育園は、JR横浜線相模原駅から徒歩で4分、相模原駅からすぐに相模原夢大通りを右斜め（北北西方向）に入り、道路に沿って歩くと左角のビルに1階に園舎があります。場所は、飲食店等、繁華街から外れた駅前の中心地であり、保護者にとって良い利点の地に所在しています。けんせい保育園が位置する相模原市は、東西南北に広く、平成の大合併以降、市域が大きくなりましたが、自然豊かな環境は今なお育まれており、公園も多く、将来はリニア中央新幹線の停車駅と車庫ができる予定もあり、近未来に向けて新旧混在しながらも発展がさらに見込まれる地域です。

けんせい保育園は、平成26年11月に認可外で開園し、法改正による小規模保育を行う保育園として、平成27年4月1日に改組しました。小規模保育事業を行う保育園とは、満3歳児未満を預かり、定員は6名以上19名以下の少人数で実施される保育園です。また、小規模保育事業は、市の認可事業（地域型保育事業）として財政支援を受けられる体制となり、1人の保育士が担当する子どもの数が少なく、家庭的保育に近い雰囲気、きめ細やかな保育が行えるメリットは大きく、平成27年に法制化されました。特に0歳、1歳児の待機児童が多い昨今だけに、その年齢を中心とした小規模保育事業への期待は非常に大きいものがあります。けんせい保育園の異年齢のオープン保育では、子どもたちが手厚い保育サービスを受け、子ども一人一人が伸び伸びと育まれている様子を見ることができました。

●けんせい保育園の保育の方針

けんせい保育園の保育理念は、「心と体の健やかな成長を目指し、優しさと笑顔が溢れる園を創造すること」を掲げ、小規模保育園のメリットを活かし、子ども一人一人の情緒の安定が図れるよう、人間関係を大切に育て、子どもの気持ちを汲み取り、信頼関係の構築に努め、子どもが安心して過ごせるよう保育にあたっています。また、子ども一人一人の指導計画を作成し、園のねらいに沿って、一人一人の子どもの気持ちを考え、楽しく園生活を過ごせるように配慮して保育を進めています。さらに、子どもの年齢や発達に応じて、個々に合った様々な環境設定を行い、一人一人の生活リズムを考慮しながら活動を確

保しています。職員会議では、乳幼児の個別のケース記録を話し合い・確認し、職員間で共有を図り、統一ある対応を行っています。保育の方針は、「安定した生活リズムの確立と、自我の芽生えを助けること」、「生活習慣（食・遊・寝）の中で、自立心・社会性・協調性を育むこと」、「色々な分野の活動を通じて好奇心を育て、達成による感動の笑顔を育むこと」に置き、けんせい保育園では『子ども第一の保育』を積極的に行っています。

《優れている点》

1. 小規模保育の推進

けんせい保育園では、平成27年4月より新たに「子ども、子育て支援法」として法制化された小規模保育園として保育を推進しています。待機児童の大半は都市部に集中し、政令指定都市の相模原市としても同様です。小規模保育事業へ多様な主体が参入することで、大型園が設け難い都市部での待機児童解消は劇的に進むことが予想されます。小規模保育園としての特徴（①公的な補助・②職員の配置及び設備基準の確保・③入所申込みは自治体④選考は自治体の基準・⑤保育料は保護者の収入に応じ、自治体が徴収）と共に、国の基準、相模原市の管理に基づく明確な基準で運営される点は無認可保育園との大きな違いであり、保護者も安心して子どもを預けることができることは良い点です。利用者アンケートからも保護者から喜びの声を多くいただいています。けんせい保育園園長は、この小規模保育園制度のメリットを保護者に享受して欲しい、と思いを強く持ち、積極的に園の運営に当たっています。

2. 異年齢によるオープン保育の推進

けんせい保育園では、異年齢によるオープン保育を推進しています。保育室は、大きいワンルームを低い仕切りで2つに分け、全保育士が全体を見渡せる環境となっており、子どもも見通しができることで、オープン保育や異年齢の交流に効果があります。保育士は、子ども同士の関わりを見守り、お互いの気持ちを代弁しながら、自他の考えに違いがあることの「気づき」を促すようにしています。また、異年齢が集団で生活していく中で、成長・発達の違い等、それぞれの個性を認め合えるように援助しています。けんせい保育園は現在、2歳児までの園児を預かっていますが、2歳児を中心として当番制を導入しています。「朝の会」を始めとして、役割や、お手伝いの経験を通して、責任感・達成感と共に、喜びを感じられるように保育にあたっています。プランターで栽培しているキュウリの水やりでは、子どもは興味を示し、水やりの当番を楽しみにしています。通常の保育園での2歳児は未満児として2歳児クラスが設けられていますが、小規模保育事業のけんせい保育園では、2歳児が最年長児として、しっかりと自覚を持ち、下の子どもをリードしている姿を見、小さな子どもでも責任を持たせ、一人一人に合った能力を発揮する場面が設定されれば達成ができることを認識させられました。園、保育士の手厚い援助の下、「自立」に関して、オープン保育の良さを子どもたちは吸収し、生かされています。

3. 保護者との密接な連携

けんせい保育園では、保護者とのコミュニケーションを大切にしています。定員は16名であり、その中で兄弟での通園もあり、世帯数としては親密な関係ができる家族的な関わりを持っています。また、園長、保育士、調理員も良好な関係を構築し、設立から実質2年弱（内1年間は認可外保育園運営）で園と保護者との和やかなコミュニティが確立しています。さらに、園と保護者との関係性を反映するように、保護者会の名称を「井戸端会議」と名付け、交流会やイベント（27年度はハロウィンの行事時）に併せて開催し、双方の情報交換を行い、家庭と密にコミュニケーションを図り、保育に生かしています。保護者との情報交換では、日々の子どもの様子はブログで詳細に知らせ、個人別には連絡帳や送迎時に口頭で伝え、さらなる信頼関係を築けるように努力しています。小規模保育園としては1年未満ですが、保護者と良い関係が構築できており、利用者アンケートでも保護者から感謝の声が多く挙がっています。今後も継続して体制を維持し、「優しさと笑顔が溢れる園」を保護者と共に目指して行かれることを期待しております。

2. 評価項目に基づく評価の結果

■大項目1 保育環境の整備

大項目1全体（調査確認事項全80項目）を通してのサービスの達成状況	100 %
-----------------------------------	-------

評価機関が定めた評価項目に沿って調査（ヒアリング、書類確認、観察）を行った結果です

【大項目1の内容（概要）】

1	人権の尊重	<p>◆人権については、職員採用時の研修期間中にホスピタリティ研修テキストに沿って人権に関する研修を実施しています。さらに、研修テキストの充実を図る為、職員からも情報を得、研修テキストの収集を考えています。保育室は、1フロアで低い仕切りで2つに部屋を分け、保育士は室内が見渡せ、子ども一人一人に目が行き届き、手厚い保育を行い、人権に関する不適切な対応は行っていません。</p>
		<p>◆相模原市の人権に関する冊子を基に、全職員に周知し、人種、性別等に関する差別は一切行っていません。現在、外国籍に係る子どもが在籍していますが、他の子どもたちと分け隔てなく接しています。母国語を教えてもらい、時に外国語を交えながら保育に当たり、子どもに安心感と他の子どもへの理解を促しています。また、宗教に関しては配慮を行い、必要があれば宗教食の対応もできる体制にあります。</p>
		<p>◆「虐待対応マニュアル」を整え、職員に説明し、職員は理解しています。「マニュアル」は1冊に取りまとめて事務室に保管し、職員がいつでも閲覧・確認できるようにしています。小規模保育園の認可は平成27年4月1日付であり、1年以内に各種マニュアルが完備されたことは、より良い園への積極的な姿勢と、「実施と体制」の確立に向けた取り組みであり、評価に値し、敬意を表します。園児については現状、配慮を要する子ども・保護者は在籍していませんが、関係機関とは連携を図り、情報交換ができる体制にあります。また、虐待に関する研修会等には参加する予定でいます。</p>
2	プライバシー確保	<p>◆個人情報に関する基本方針を作成し、フロアに掲示しています。守秘義務については、職員採用時の雇用契約書に明文化し、入職時には誓約書を交わしています。日常保育の中で不適切な情報漏洩に留意し、個人情報の漏洩はありません。</p>
		<p>◆見学者、実習生、ボランティアの「受け入れマニュアル」を完備しています。受け入れ時には、守秘の契約書を交わし、マニュアルに即した対応を実施する予定でいます。</p>

		◆PD マークは取得してはませんが、個人情報保護の関する基本方針を、フロア内の誰もが目にするとところに掲示しています。
3	家庭と保育園との信頼関係の確立	<p>◆保護者との情報交換は連絡帳を活用し、連携を密にしています。園では、「連絡帳記載のマニュアル」を整え、マニュアルに沿って職員教育を行い、保育者の経験値に係らず園として統一ある記載に努めています。「井戸端会議」（保護者の会）を定期的開催し、保育園での子どもの様子を保護者に伝え、情報交換を行う機会を設けています。</p> <p>◆保護者が参加しやすいよう、「井戸端会議・ハロウィン祭り」と称して保護者の会を実施しています。今後も継続して実施していく予定です。懇談会及び個人面談時には、保護者の意見や要望を必ず聞くようにし、保育に反映させています。個人面談終了後は所定の用紙に記録し、全職員に周知し、共有しています。</p> <p>◆保護者からの意見や要望は、基本的には「クレーム報告書」で対応し、意見は運営に反映させています。クレーム報告書記載の流れが確立していますが、意見・要望、クレーム共、実績はありません。</p>
4	苦情解決システム	<p>◆苦情に関して、苦情処理規定を備え、苦情処理の手順は確立しています。保護者に対しては、重要事項説明書に苦情対応窓口と対応担当者を明示し、入園時に説明しています。また、フロアに重要事項説明書を掲示しています。苦情への対応・解決策に関しては、法人議事録に記載しています。</p> <p>◆第三者委員を選定し、第三者委員名・苦情解決責任者名を保護者や来園者の目の留まりやすい場所に掲示し、周知しています。第三者委員とは年1回以上、保育サービスの改善について、話し合いを行って行く予定であり、より良い園を目指していきます。</p> <p>◆法人役員は現在、園長であり、報告内容は法人議事録に記載して事務室に保存しています。</p>
5	環境整備	<p>◆保育環境について、「園児安全管理マニュアル」に保育室の温・湿度に関する基準値の記載があり、安全衛生チェックリストで管理し、快適な環境を確保しています。管理担当者についてもマニュアルに定めています。また、冷蔵庫内の温度基準値も決め、ミルク等、安全に管理しています。</p> <p>◆「危険物管理マニュアル」を整え、基調は、子どもの手が届かないところに置いて保育士が管理し、所定の場所に収納</p>

		<p>しています。設備については、安全衛生チェックリストで管理し、記録を付け、安全対策を講じています。</p> <p>◆子どもが直接触れる玩具、水回り等については、「保育衛生管理マニュアル」を整備し、安全チェックリストにより管理し、記録を付け、清潔・安全な環境整備に努めています。保育衛生管理マニュアルは保育環境全体及び、調理室で活用し、衛生に留意しています。</p>
6	健康管理（感染症対策・救急救命を含む）	<p>◆与薬については、「与薬マニュアル」があり、重要事項説明書に明示し、保護者に「与薬シート」に記載してもらい、園が承認した内容のみ実施しています。与薬シートは、ファイル及び、保管しています。投薬については慎重に実施しています。</p> <p>◆「健康管理マニュアル」を整え、体調不良児への対応では、体温測定により 37.5℃以上ある場合は保護者に速やかに連絡し、善後策を講じています。日々の子どもの状況は、連絡帳、保育日誌に記録しています。</p> <p>◆ケガについては、「安全管理マニュアル」に沿い、特に、顔から上の部位に応じて、緊急な措置を認識し、保護者に詳細を連絡し、受診等の指示を仰ぎ、対応し、通院した場合には事故報告書に記載しています。ケガについては軽重に係らず、必ず保護者に伝えています。</p> <p>◆感染症については、「健康管理マニュアル」、「感染症マニュアル」を用意し、園で発症した場合には迅速に保護者に案内し、蔓延に注意しています。また、近隣で流行している場合は、保護者に発生状況、感染症の名称、その感染症の症状等を案内し、情報提供により予防を促しています。職員は、感染症の研修会等に参加し、最新の情報、知識を得、受講した職員は職員会議で報告し、共有を図っています。</p> <p>◆健康管理マニュアル、医療機関リスト、保護者緊急連絡先リストを完備し、医療機関リストは掲示し、緊急に対応できるようにしています。医師への連絡は記録を残し、連絡帳にも詳細を記入しています。</p>
7	危機管理（防災・防犯）	<p>◆「防災マニュアル」を整備し、相模原市の「保育所防災の手引き」と共に、年間計画に基づいて避難訓練を実施し、毎月末の職員会議では次回の避難訓練について周知・確認を行い、訓練実施後は記録を残しています。保護者への緊急連絡方法は、171（災害ダイヤル）、一斉メールを活用し、連絡ルートを確認しています。</p>

		<p>◆防犯対策については、安全管理マニュアルに沿って不審者等の対応訓練を実施し、神奈川県暮らし安全指導員の指導により防犯訓練も実施しています。不審者等の情報を入手した際は職員に周知し、連携を心掛けています。防犯、防災に関しては、地域の消防署、警察、相模原市役所との連携を心がけています。</p> <p>◆災害発生時の地域の緊急避難場所として、けんせい保育園は小規模保育事業なので、災害による地域支援は該当しませんが、備蓄として、水・非常食は備えています。</p>
8	地域の子育て支援	<p>◆小規模保育事業として、地域の子育て支援について、自治体の助言を受けながらでき得ることを模索中であり、現在は、延長保育、一時保育を実施しています。延長保育はパンフレットに20:00迄の利用時間を明記していますが、19:00以内の利用者が多い現状です。一時保育では、申込書を準備し、利用者に関する日誌も完備しています。</p>
9	自己評価と情報開示	<p>◆今回、開所1年目に第三者評価を受審しました。評価項目に県社協版を活用し、公開します。来年度は簡易型の自己評価表を採用し、実施して行く予定でいます。小規模保育事業の新設園での課題を、第三者評価で明確化を図っていきます。</p> <p>◆情報開示では、都度の掲示で周知していましたが、今後、相模原市主催内容も含め、「子育て支援掲示板」を作製し、一覧で見やすい掲示の工夫を進めています。園のホームページは現在リニューアル中であり、好評であったブログは継続し、さらに、案内・情報等を掲載して情報を提供していきます。</p> <p>◆保育参観や保育参加については、保護者が集まる時に周知すると共に、園だよりにも掲載しています。</p>
10	職員研修	<p>◆けんせい保育園の保育理念は、「心と体の健やかな成長を目指し、優しさと笑顔が溢れる園を創造すること」であり、園内に掲示し、年度末、年度始めに年間指導計画の反省・評価・見直しの中で、園児、職員の心と体の健全を確認しています。</p> <p>◆「保育所職員研修計画」に基づき、計画的に研修を実施し、外部の研修にも参加しています。外部の研修に参加した職員は、受講後、会議や園内自主研修会等で報告を行い、職員間で共有を図り、保育に生かしています。研修報告書は全職員が閲覧できるようにファイリングしています。</p> <p>◆実習生の受け入れでは、マニュアルに沿って、事前にオリエンテーションを実施し、受け入れ担当及び、実習計画検討等の実習生の窓口は主任とし、園の方針、留意点等を伝え、「実</p>

	習生受け入れマニュアル」に沿って実施していきます。現在、受け入れ実績はありませんが、今後、受入れていく予定でいます。
--	--

■大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、ヒアリング（園長、職員）、観察、裏付けなる書類で事実確認を行った結果を「第三者評価での確認点」に記載しています。

1	「子どもと保育士とのかかわりにおいて、子どもの情緒の安定をはかることや、順調な発育・発達を促すためにどのような取り組みをしていますか」
----------	---

事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>①信頼関係を築き、安定して過ごせるようにしている。</p> <p>②個々の活動を確保して、一人ひとりの生活リズムに応じた対応をしている。</p> <p>③職員会議で乳幼児の個別のケース記録を話し合い、共有し、対応している。</p>	<p>① 子ども一人一人の情緒の安定が図れるよう、人間関係を大切にして育み、子どもの気持ちを汲み取り、信頼関係の構築に努め、子どもが安心して過ごせるよう保育にあたっています。また、子ども一人一人の指導計画を作成し、園のねらいに沿って、一人一人の子どもの気持ちを考え、楽しく園生活を過ごせるように配慮して保育を進めています。</p> <p>② 子どもの年齢や発達に応じて、個々に合った様々な環境設定を行い、一人一人の生活リズムを考慮しながら活動を確保しています。</p> <p>③ 職員会議では、乳幼児の個別のケース記録を話し合い・確認し、職員間で共有を図り、統一ある対応を行っています。職員は、ケース記録を話し合うことにより、柔軟に個別対応にあたることができ、子どもの精神の安定に効果を上げています。</p>

2	「子ども同士のかかわりにおいて、個の違いを認め合うことや他者と自分を大切にすることを心を持って行うようにするためにどのような取り組みをしていますか」
----------	--

<p>①子ども同士の関わりを見守り、気持ちを代弁しながら、自他の考えに違いがあることを気づけるようにしている。</p>	<p>① 保育室は、大きいワンルームを低い仕切りで2つに分け、全保育士が全体を見渡せる環境となっており、子どもも見通しができることで、オープン保育や異年齢の交流に効果を発揮しており、保育士は、子ども同士の関わりを見守り、お互いの気持ちを代</p>
---	---

<p>②異年齢が集団で生活していく中で、成長・発達の違いなどそれぞれの個性を認め合えるように援助している。</p> <p>③イベントや季節行事を取り入れるほかに、一人ひとりの誕生日にみんなでお祝いし、友だちに祝ってもらおう嬉しさや他児を思いやる気持ちを育てている。</p>	<p>弁しながら、自他の考えに違いがあることの「気づき」を促すようにしています。</p> <p>② 異年齢保育はけんせい保育園の特徴の一つであり、保育士は、異年齢が集団で生活していく中で、子ども同士のやり取りを見守り、成長・発達の違い等、それぞれの個性を認め合えるように援助しています。</p> <p>③ イベントや季節行事、子ども一人一人の誕生日会を設け、コミュニケーションを図る機会を通して信頼関係を育てています。誕生日会では、アンパンマンのデコレーションケーキを作ってみんなで祝い、バースデイソングをみんなで歌い、ケーキカットを行い、保育士、友だちから祝ってもらおう等、子どもは特別感を味わい、うれしい気持ち、他児を思いやる気持ちの芽生えや育みを大切にしています。お誕生日の子どもには一人一人にお祝いカードを渡しています。</p>
--	--

<p>3</p>	<p>「子どもと社会とのかかわりにおいて、人に役立つことの喜びを感じたり、人と関わることの楽しさを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか」</p>
-----------------	---

<p>①当番制を導入し、朝の会を始めとして役割を果たす責任感や、お手伝い経験など達成による喜びを感じられるようにしている。</p> <p>②地域の子どもの関わりの中で、年上の子に優しくされたり、年下児の世話をする経験を通して、いたわりや思いやりの気持ちを味わえるようにしている。</p> <p>③散歩を通じて近隣の方々に積極的に挨拶をすることによって、地域社会との関わりをより良いものとして感じられるようにしている。</p>	<p>① 現在、2歳児までの園児を預かっていますが、2歳児を中心として当番制を導入しています。「朝の会」を始めとして、役割や、お手伝いの経験を通して、責任感・達成感と共に、喜びを感じられるように保育にあたっています。プランターで栽培しているキュウリの水やりでは、子どもは興味を示し、水やりの当番を楽しみにしています。</p> <p>② 散歩を通して他園の子どもたちと積極的に交流を図り、また、地域の子どものかかわりを通して、年上の子に優しくしてもらった経験や、日常生活の中で、年下児の世話をする機会を通して、「楽しさ」、「いたわり」や「思いやり」の気持ちを味わえるようにしています。</p> <p>③ 散歩では、行き交う近隣の方々に積極的に挨拶を行い、交流を通して地域社会との関わりを子どもが感じられるように取り組んでいます。近隣の八百屋で野菜をいただいた際は、次の時に「ありが</p>
--	---

	とう、を言おうね」と子どもと話しています。
--	-----------------------

4	「生活や遊びなどを通して、言葉のやりとりを楽しめるようにするために、どのような取り組みをしていますか」
----------	---

<p>①日常生活の中で優しい語りかけ、絵本や紙芝居の読み聞かせによって、豊かな発想力を身につけさせるよう援助している。</p> <p>②ごっこ遊びやママごとなど、子どもが自ら選び、遊べるような環境を整えている。</p> <p>③挨拶や生活遊びに必要な言葉を伝えている。</p>	<p>① 保育士は、子どもに対してやさしく語りかけ、絵本や紙芝居の読み聞かせなどから、豊かな発想や創造が育まれるよう取り組んでいます。</p> <p>② 保育室にコーナーを設置し、ごっこ遊びや、ままごと等、子どもが自ら選び、遊び込めるような環境を整えています。それぞれのコーナーで子ども同士の会話の広がりや、一つの遊びから発想が膨らみ、展開できる機会を提供しています。</p> <p>③ 日々の生活、遊びを通して、挨拶の言葉、絵本や紙芝居の読み聞かせ等から言葉を伝え、また、保育士からの言葉掛けで必要な言葉を伝えています。</p>
--	---

5	「生活や遊びなどを通して、話すこと・聞くことが楽しめることや言葉の感覚が豊かになること、自分の伝えたいことが相手に伝わる喜びを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか」
----------	---

<p>①朝の会やお誕生日会など、みんなの前で話したり発表する機会を設けている。</p> <p>②読み聞かせの時間を設けたり、自由に絵本を取り出せる環境を用意し、言葉への親しみが湧くような環境を整えている。</p> <p>③子どもの話を優しく受け止め、共感して、話したいと思う気持ちを大事にしている。</p>	<p>① 「朝の会」やお誕生日会の機会に、みんなの前で話したり、発表する取り組みを行っています。朝の会では、保育士が『今日は何月？・何日？・何曜日かな？』と子どもたちに投げかけ、お天気は「晴れてる？」、「曇りかな？」、「雨降りかな？」などを話して豊かな言語へとつなげています。お誕生日会では、保育士が司会者となり、子どもにインタビューをします。「いくつになりましたか？」、「好きな色は何色ですか？」など聞き、インタビューを保育士がサポートすることで子どもの発語が促進されています。誕生日会でのインタビューの様子がブログでも掲載されています。</p> <p>② 読み聞かせの時間を設け、子どもが自由に絵本を取り出せる環境を用意し、言葉への親しみを身近</p>
---	--

	<p>に得られるよう環境を整備し、興味・関心につなげています。</p> <p>③ 保育士は、子どもが話す言葉をやさしく受け止め、共感し、子どもが自分の思いを言葉で表現しようとする気持ちを大切にしています。また、子ども自身が、気持ちが伝わったことの喜びを持てるようサポートしています。</p>
--	---

6	<p>「生活や遊びなどを通して、楽しんで表現することができるようにすることや表現したい気持ちを育むためにどのような取り組みをしていますか」</p>
---	---

<p>①リズム体操など音楽を聞いたり歌ったりしながら、体を楽しく動かし表現する活動を取り入れている。</p> <p>②様々な制作活動を通して、興味・自発性を引き出すようにしながら、表現活動を楽しめるよう援助している。</p> <p>③保育活動の中にお絵かきや粘土遊びなど、造作表現の楽しさを感じられる活動を取り入れている。</p>	<p>① 毎朝、リズム体操を行ったり、音楽を聞いたり、歌ったりしながら、体を楽しく自由に動かし、気持ちを表現する活動を取り入れています。音楽では8曲を採用し、今は、どの曲をかけても踊れるようになっています。体操では、「アラレちゃん音頭」、「アンパンマン音頭」などを取り入れて楽しく体操をしています。活動をした後は、心も体も軽く動き出すので、お散歩に出かけます。</p> <p>② 様々な制作活動を通して、保育士が言葉を交わしながら活動と一緒に取り組み、子どもの表現の欲求や、興味や関心を広げ、表現活動の喜びを味わい、興味・自発性を引き出すようにしています。雪だるま作りでは、0歳、1歳児は紙の雪だるまに指スタンプで制作し、2歳児は、目、鼻、口を書いて雪だるまを仕上げました。</p> <p>③ 保育活動に、お絵かきや粘土遊びなどを取り入れ、おもしろそう、の興味から表現の楽しさを感じられるよう取り組んでいます。造作活動では、お神輿をみんなで作り、ハロウィンでお神輿をカートに乗せて引き、公園で下ろし、「わっしょい」をしてから近所を周りました。近所には事前にお菓子を預けて、子どもたちに渡してもらうよう協力を願い、子どもたちは大喜びでした。子どもたちが喜びを味わえるよう、園の配慮と、地域とのつながりに向けた取り組みは評価に値します。</p>
---	--

7	「生活や遊びなどを通して、自発的に表現する意欲を育むことやみんなと一緒に表現する喜びを味わえるようにすること、創造的に表現することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか」
---	--

<p>①制作活動を取り入れることによって、創造的な表現ができる環境を整えている。</p> <p>②ハンドペイントやボディペイントなど子どもの自由な発想や自発的に表現する意欲を育んでいる。</p> <p>③神輿作りや落書き遊びなど、共同作業で行う活動を通して、皆で一つのものを作り上げる喜びを持てるように取り組んでいる。</p>	<p>① 制作活動は、月2回以上取り入れ、興味から意欲へつながるように、保育士が援助しながら創造的な表現ができるよう取り組んでいます。</p> <p>② ハンドペイントや、ボディペイントの遊びから子どもの自由な発想や自発的に表現する意欲・五感を育んでいます。例えば、布を広げ、子どもたちは体全体を使ってボディペインティングを行い、体全体で様々に表現し、子どもたちは大喜びです。</p> <p>③ 共同作業で行う活動を通して、神輿作りや落書き遊びなどを皆で一つの制作に取り組み、作り上げる「喜び」、「楽しみ」の感情を育んでいます。「西瓜」の作品では、赤色部分を子どもの手のスタンプで作成しました。</p>
---	---

8	「生活や遊びなどを通して、聞く・見るなど感覚の働きを豊かにすることや身体を動かす楽しさを味わうこと、身近なものに対する興味や関心を引き出すためにどのような取り組みをしていますか」
---	---

<p>①季節の行事日に紙芝居やペープサートなどを行っている。</p> <p>②外遊びでボールやかけっこを通じて体を動かす楽しさを味わえるようにしている。</p> <p>③散歩で電車や踏切の音、動物の泣き声に耳を澄ませたりしている。</p>	<p>① 季節の行事では、行事の日に紙芝居やペープサートなどを行い、視聴覚教材を見たり、聞いたりすることにより興味や関心を高め、豊かな感性を育んでいます。</p> <p>② 外遊びでは、公園でボール遊びやかけっこをして体を動かし、「楽しい」を味わうと同時に、体を動かすと汗をかいて気持ちが良いことを覚え、体を動かすことがケガの防止にもつながっています。</p> <p>③ 散歩を通して、行き交う道で聞く電車や踏切の音、動物の泣き声、四季折々の自然の匂いなどに触れ、感覚の働きを豊かにする機会を設けています。JR横浜線が園舎の近くを通っているため、散歩で電車を見に行っています。</p>
---	--

9	「生活や遊びなどを通して、身近な様々なものに対する探索意欲を満足させることや社会や自然の事象や、動植物への興味や関心をもてるようにするためにどのような取り組みをしていますか」
---	---

<p>①春夏の花つみ・虫とりなどの探索や、秋冬のドングリ拾いや霜柱・氷遊びなど、季節の自然に対する興味関心が育つような取り組みをしている。</p> <p>②ウサギやモルモットなど小動物とのふれ合いの場を提供している。</p>	<p>① 四季を通して身近な動植物に親しみを持ち、春夏の花摘みや虫とりの探索、秋冬のドングリ拾いや霜柱に触れ、氷遊びなどから自然に対する興味・関心につなげています。園ではキュウリの栽培を行い、水やりをして成長を観察する機会を設けています。</p> <p>② 園舎隣の同法人の高齢者サービスの部屋にブルーシートやペットシートを敷き、職員が飼育しているウサギやモルモット等、小動物とのふれ合いの場を提供し、いたわったり、大切にす気持を育んでいます。</p>
--	--

10	「自分から食べようとする意欲を育んだり、排泄をしようとする意欲を育むためにどのような取り組みをしていますか」
----	--

<p>①存分に遊び、空腹を感じて意欲的に食事ができるようにしている。</p> <p>②トイレを気持ちよく使えるよう衛生的な環境を整え、個々の発達に合わせて援助している。</p> <p>③野菜を育てたり、食レクを行ったりして、食材や食べ物に関心を持たせ、食べる喜びへと繋げている。</p>	<p>① 園では、毎朝リズム体操を行い、体を動かした後には散歩に行き、子どもたちが存分に遊び、空腹を感じ、意欲的に食事ができるようにしています。</p> <p>② 排泄環境を清潔に整え、子ども一人一人の発達、排泄リズムに応じて援助し、トイレとトレーニングでは、トイレに座ってみる、できたら褒め、シールを貼って楽しみにつなげていく等、工夫しています。</p> <p>③ プランターでキュウリを栽培し、2株で約50本の収穫を行い、夏にはグリーンカーテンにするなど、野菜を育て、収穫した食材を給食で食すなど、関心につなげています。食レクでは、おやつ作りを行い、おはぎや、ぼた餅、バレンタインチョコなどを作り、調理の過程を見ることにより、食材や食べ物に興味と食べる喜びにつながるよう取り組んでいます。</p>
---	--

11	「身の回りのことを自分でしようとする意欲を育むことや基本的な生活習慣を身につけること、食事や休息の大切さを理解することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか」
----	--

<p>①自分の持ち物や、着替えのある場所を分かりやすく設置したり、生活の中にパターンを作って、身の回りのことを意欲的に行う姿勢を育てている。</p> <p>②園便り・保健便りを通して各家庭と連携を取り、情報交換をしながら基本的な生活習慣の大切さを理解させている。</p> <p>③絵本や紙芝居を通じて、食事や休息の大切さを知らせている。</p>	<p>① 基本的な生活習慣を身につけられるよう、個々の子どもの発達を踏まえながら、自分でしようとする意欲を大切に、職員間で共通理解を図り、日々取り組んでいます。子どもが自分の持ち物や、着替えのある場所が分かるよう設置に配慮し、生活の中に流れを作り、子ども自身で身の回りのことが意欲的にできる姿勢を育てています。帰りの支度が自分でできるようになるよう、総合的な発育を促しています。連絡帳も自分で通園用カバンにしまっているのを確認できました。</p> <p>② 園便り、保健便りを発行し、各便りの中で基本的な生活習慣の大切さを伝え、家庭と情報交換及び、連携を図りながら理解を促しています。</p> <p>③ 食事や休息にかかわる絵本や紙芝居を子どもたちに読み聞かせ、理解ができるよう伝えていきます。また、食事の際や、午睡時にも保育士が言葉をかけています。</p>
--	---

■大項目3 保育園の特徴

事業所から自己申告された内容について、ヒアリング（園長、職員）、観察、裏付けなる書類で事実確認を行った結果を「第三者評価での確認点」に記載しています。

1	「子どもの豊かな心と身体を育むための特徴的な取り組みについて説明してください」
---	---

事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>①異年齢児との関わりの中で、相手に対する思いやりや、優しさの気持ちを育てている。</p> <p>②健康生活の一助として、リズム体操・お散歩・遊具やボールを使った体育遊びなどの全身運動を行っている。</p> <p>③自然や季節の移り変わりを感じる事ができる活動をお散歩や季節行事などに取り入れている。</p>	<p>① けんせい保育園では、異年齢でのオープン保育を行い、異年齢児との関わりの中で子どもたちは人間関係を育み、相手に対する思いやりや、優しさの気持ちを育むよう保育士がサポートし、小さいながらも下の児のお世話をしたり、友だちの間で玩具等を譲り合う等、他の子を思いやる優しい気持ち育まれていることが確認できました。</p> <p>② 朝のリズム体操、散歩、体育遊びなど、体力作りの一連の流れを構築し、十分な遊びと食との関連性を考え、健康的に健全な子どもの育成が行われています。子どもたちの「笑顔」・「やさしさ」・「喜び」につなげています。</p> <p>③ 戸外活動や、身近な自然に触れ、季節の移り変わりを感じる事ができる活動を行い、五感を育てています。</p>

2	「保育環境に特別な配慮を必要とする子どもの保育（長時間保育、障害児保育、乳児保育、外国籍園児）に関しての特徴的な取り組みについて説明してください」
---	---

<p>①長時間保育では一人ひとりの子どもの気持ちに配慮しながら家庭的な雰囲気の中で保育している。</p> <p>②外国籍児の保育では、宗教や家庭背景を配慮し、言葉（外国語）やジェスチャーをして対応している。</p>	<p>① 長時間保育では、家庭的な雰囲気を大切にし、保育士は一人一人の子どもの気持ちに応じ、落ち着いて過ごせるように配慮しています。</p> <p>② 外国籍に係る子どもに対しては、宗教や家庭背景を理解し、他の子どもと同様に保育を行い、母国語でのコミュニケーションに努力し、ジェスチャーを交えて対応しています。</p>
---	---

<p>③乳児保育に関しては、睡眠時にベビーセンスを併用し、SIDS や窒息などの早期発見に努めている。</p>	<p>③ 乳児の睡眠時にはベビーセンスを採用し、SIDS や窒息などの早期発見に努めています。ベビーセンスは30秒間、呼吸が無いと音が鳴って知らせしてくれるもので、緊急時に備え、ベビーベッドに設置しています。</p>
---	--

<p>3</p>	<p>「健康管理に特別な配慮を必要とする子どもの保育（アレルギー疾患をもつ園児、乳児保育、病後時保育など）に関する特徴的な取り組み（アレルギー食対応、個別食、離乳食など）について説明してください」</p>
----------	--

<p>①保護者、調理員、保育士と連携を取りながら、個々の発達状況に応じた離乳食を提供している。</p> <p>②体調不良の時は、室内で静かに過ごしたり、時にはベッドに横になって休ませたり、水分補給もまめに行うようにしている。</p>	<p>① 現状、アレルギー疾患を持つ子どもは在籍していませんが、園では、離乳食に関して、保護者、調理員、保育士と連携を密に取り、話し合い、個々の発達状況に応じた離乳食の提供に努めています。アレルギー疾患を持つ子どもを受け入れた場合には、医師の指示書に従い、マニュアルに沿って対応することになっています。</p> <p>② 子どもが体調不良の場合は、室内で静かに過ごし、必要に応じてベッドに横になって休ませ、水分補給にも配慮しています。感染症などが疑われる場合には、他児が過ごす保育室とは隔離して配慮しています。</p>
--	---

<p>4</p>	<p>「食に関する特徴的な取り組みについて説明してください」</p>
----------	------------------------------------

<p>①夏野菜（きゅうり）の栽培と収穫を通して食材への関心を高めている。</p> <p>②食後の下膳を行うことで食べる事への意欲が持てるようにしている。</p> <p>③毎日の給食を献立ボードに記入し、食物の体への働きを知らせている。</p> <p>④おはぎ作りやバレンタインチョコ作りなど、季節に応じた食レクを催し、季節の食べ物や料理に関心を持つようにしている。</p>	<p>① 夏野菜（きゅうり）の栽培から、水やりを当番で行い、収穫の喜びを味わい、収穫した野菜は食事で提供し、食材への興味・関心につなげています。</p> <p>② 食後の下膳を保育士と一緒に体験を通して、食べる事への意欲が持てるようにし、子どもは調理室まで食器を持って行き、調理師は完食したことを褒め、達成感につなげています。</p> <p>③ 毎日の給食内容は献立ボードに記入し、食物の栄養素による身体への働きを知らせています。保護者へは献立表を事前に配布し、園のブログでは子どもの人気の献立を掲載し、情報提供と共に家庭へ食育を促しています。</p>
--	--

	④ 食レコを取り組み、季節に応じたおやつ作りを催し、おはぎ、ぼた餅、バレンタインチョコ等を作り、季節の風物詩の食べ物や料理に関心を持つように取り組んでいます。
--	---

5	「家庭とのコミュニケーションに関する特徴的な取り組みについて説明してください」
---	---

<p>①園便り・保健便りを発行し、園での様子や囑託医の先生からの注意事項を知らせている。</p> <p>②日々の詳細な様子をブログで知らせている。また、個人の連絡帳や口頭でも伝えることによって、より強い信頼関係を築けるように努力している。</p> <p>③交流会やイベントを兼ねた保護者会を開き、情報交換を行い、家庭と密にコミュニケーションが取れるように努力している。</p>	<p>① 園便り、保健便りを発行し、園だよりでは、園の情報、行事等、子どもの園生活の様子をお知らせし、保健便りでは囑託医からの注意事項や季節の感染症などを知らせて情報を提供しています。</p> <p>② 日々の子どもたちの園での様子を細やかに、子どもの表情と共にブログで伝えています。ブログはアンパンマンの背景で、明るく楽しい雰囲気伝わってきます。個人の連絡帳を活用し、口頭でも伝え、連携を密にし、さらなる信頼関係の構築に向けての努力がブログからも伝わります。</p> <p>③ 保護者が気軽に集まれるよう保護者の会を「井戸端会議」と称し、交流会やイベントに併せて井戸端会議を設け、保護者と情報交換を行い、コミュニケーションが図られています。利用者アンケートでも園に対する満足度は非常に高い結果となっています。真摯な取り組みが保護者の評価に表れています。</p>
--	---

6	「地域の子育て支援に関する特徴的な取り組みについて説明してください」
---	------------------------------------

<p>①お散歩時に公園などに来ている近隣の親子連れには積極的に声をかけ、園児達との交流を図っている。</p> <p>②月に1回程度、「あおぞら絵本」と称して、園児だけでなく地域の子どもたちも対象とした読み聞かせを公園で行っている。</p>	<p>① 散歩は地域の公園を活用し、親子連れが遊んでいれば積極的に声かけを行い、園児たちとの交流を図っています。また、行政に助言を仰ぎ、地域の子育て支援について小規模保育事業ででき得ることを検討する姿勢と取り組む予定があります。子育て支援事業では、延長保育、一時保育を実施しています。</p> <p>② 「あおぞら絵本」の取り組みでは、地域の子ど</p>
---	---

	<p>もたちも対象にして、園児と共に公園で読み聞かせを実行している取り組みは地域の子育て中の親子にも活用して欲しい取り組みですので、声掛けや案内を積極的に行い、ひいては、子育てに悩む家庭にも子育て相談の一環を担う取り組みにつながる可能性を秘め、さらに、今後の継続に期待されます。</p>
--	---

保育園保護者アンケート調査結果

保育園名 けんせい保育園

1	あなたは園の保育方針や保育の内容や方法について知っていますか	知っている		知らない		無回答
		86.7%		13.3%		0.0%
2	送迎時の保育士との話や連絡帳により、園でのお子さんの様子がわかりますか	よくわかる	まあまあわかる	あまりわからない	わからない	無回答
		66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
3	お子さんが園内でけがをした場合や在園中に具合が悪くなった場合は、その状況について十分な説明がありますか	詳しい説明がある	簡単な説明がある	あまり説明がない	説明が不足である	無回答
		93.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
4	お子さんの個別の事情(アレルギーや家庭の事情など)への対応や援助内容についてあなたの意向や希望を園に相談しやすいですか	相談しやすい		やや相談しにくい	相談しにくい	無回答
		80.0%		6.7%	0.0%	13.3%
5	お子さんの保育内容に関するあなたの疑問や要望に対して、園からは速やかな回答など、丁寧な対応がされていますか	十分である		やや不十分である	不十分である	無回答
		93.3%		0.0%	0.0%	6.7%
6	懇談会や個別面接などにより、園との十分な意見交換ができていますか	十分である		やや不十分である	不十分である	無回答
		53.3%		40.0%	0.0%	6.7%
7	インフルエンザなどの感染症の流行に関して園から十分な情報提供がありますか	十分である		やや不十分である	不十分である	無回答
		53.3%		40.0%	0.0%	6.7%
8	園舎内や園庭(砂場など)、遊具の管理にあたっては常に清潔面や安全面に配慮されていると感じられますか	感じられる		少し心配がある	心配がある	無回答
		73.3%		13.3%	6.7%	6.7%
9	防犯対策(不審者侵入防止など)は安心が感じられますか	感じられる		少し心配がある	心配がある	無回答
		60.0%		26.7%	6.7%	6.7%
10	緊急時(事故、災害時など)の連絡体制は安心が感じられますか	感じられる		少し心配がある	心配がある	無回答
		80.0%		13.3%	0.0%	6.7%

11	保育内容については、いかがでしょうか	満足している	まあまあ満足している	やや不満足である	不満足である	無回答
		66.7%	26.7%	0.0%	0.0%	6.7%
12	子どもに対する職員の対応や態度については、いかがでしょうか	満足している	まあまあ満足している	やや不満足である	不満足である	無回答
		73.3%	20.0%	0.0%	0.0%	6.7%
13	保護者に対する職員の対応や態度については、いかがでしょうか	満足している	まあまあ満足している	やや不満足である	不満足である	無回答
		66.7%	26.7%	0.0%	0.0%	6.7%
14	お子さんは保育園で楽しく過ごすことができているようですか	できていると思う		できていないと思う	わからない	無回答
		93.3%		0.0%	0.0%	6.7%

保護者アンケート調査結果

けんせい保育園

